

# 国立大学法人静岡大学

## 【女性研究者研究活動支援事業（拠点型）】

### 「未来を拓く明日への懸け橋 “レインボー・プラン”」

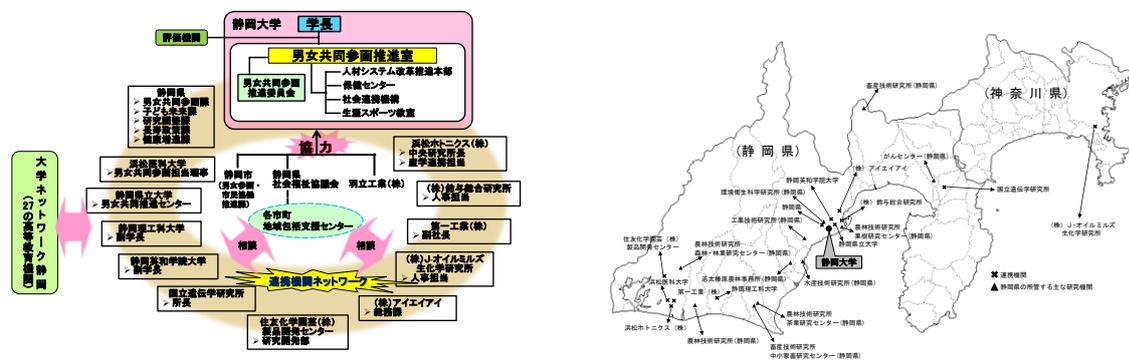
静岡大学は、平成19年に男女共同参画担当副学長を設置し、平成20年7月には「男女共同参画憲章」を制定、全学あげて男女共同参画に取り組むことを方針として、女性研究者の研究活動支援に重点を置いて、①意識改革、②研究環境の改善、③裾野拡大、④全学的な推進の4つを柱として男女共同参画を推進してきました。

平成20年度から22年度までの3年間は、文部科学省科学技術振興調整費（現科学技術人材育成費補助金）の「女性研究者支援モデル育成事業」を推進力とし、女性研究者の支援はもとより性別に関わらず学生・大学院生・教職員の誰もが育児や介護などで大変なときに大学から支援が得られ、勉学、研究、業務が続けられるよう取り組んできました。

「女性研究者支援モデル育成事業」の採択期間満了後の事後評価では、『「オンデマンド支援」による多彩な取組み、所期の計画を超える取組みの実施（多目的保育施設と学童保育の開設、出前相談の実施、女性研究者採用加速システムの導入など）及び学長のリーダーシップの下での取組の継続』が評価され、S評価を得ました。

その後、平成22年度から27年度を期間としている中期目標においては、「男女共同参画憲章に基づき、男女共同参画を推進する」と目標を掲げ、①意識改革、②女性の採用と登用、③ワークライフバランス、④学生向け事業、⑤地域連携事業の<5つのアジェンダ>に基づく取組を実施し、女性研究者支援と男女共同参画を推進することにより、すべての者にとって働きやすく、学び・研究しやすい環境の整備と向上を目指して活動を展開しています。このような静岡大学の取組は、「くるみん」の2回取得、法人評価での高い評価、静岡県の知事褒賞など外部からも高評価を得てきました。

このような静岡大学の取組は、地方中核大学のモデルといえ、このモデル的な取組を他の研究機関へ広く普及すべく、文部科学省科学技術人材育成費補助金の「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」（事業期間：平成25年度から27年度）にも採択されました。本事業では、女性研究者が能力を最大限発揮できるように、出産や子育てなどのライフイベントと研究を両立させるため、静岡大学の取組を、静岡大学が拠点となって、行政機関、大学及び企業の12の研究機関と連携して、これらの機関への普及に努めています。



<連携のイメージ>

<連携の広がり>

今回の取組では、ライフイベントによる研究活動の中断や低下を最小限にとどめ、ライフイベントを理由とする離職率の減少を目指して、女性研究者の数的拡大と研究能力の向上を図ります。具体的な目標を“レインボープラン”と名付け、①「定例交流会」及び「女性研究者同士の人的ネットワーク」構築と意識改革を醸成、②本学の支援策を連携機関へ普及、③連携機関が女性研究者比率や女性研究者数に関する「数値目標」を設定、④計画期間内に各連携機関が女性研究者の採用を目指す、⑤女性研究者自身の健康管理を礎とした研究環境の改善、⑥女性研究者の「人的ネットワーク」構築により、共同研究を促進、⑦連携機関が女性研究者の「業績目標」を設定、の7つとしています。これまで、5回の定例交流会（連携機関との情報共有、情報交換の場）と、各種行事を開催し、連携の基盤となる関係作りに重点を置いて、各種支援制度の紹介や連携機関の研究者による試験的な利用を行い支援制度の効果を実感できるように努めてきました。事業期間も中盤となり、今後は、連携機関における支援策導入に向けた新たな取組を進め、“レインボープラン”を達成すべく、連携を強化しながら連携機関とともに努力してまいります。

【連絡先】 国立大学法人静岡大学 男女共同参画推進室

TEL : 054-238-3068

FAX : 054-238-3069

E-mail : takenoko@adb.shizuoka.ac.jp

URL : <http://www.sankaku.shizuoka.ac.jp/>

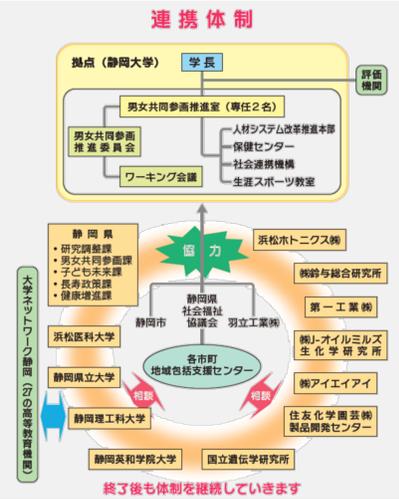
# 未来を拓く明日への懸け橋“レインボー・プラン”

静岡大学では、未来を拓く明日への懸け橋“レインボー・プラン”をキャッチフレーズに、5本の矢の取組を進め、女性研究者が能力を最大限発揮できるように、出産や子育てなどのライフイベントと研究を両立させるため、静岡大学が取り組んでいる内容を静岡大学が拠点となって、行政機関、大学及び企業と連携して、これらの機関への普及に努めています。



## 達成目標 (レインボー・プラン)

1. 「定例交流会」及び「女性研究者同士の人的ネットワーク」構築と意識改革を醸成
2. 本学の支援策を連携機関へ普及
3. 連携機関が女性研究者比率や女性研究者数に関する「数値目標」を設定
4. 「Dual-career支援」などで、各連携機関が女性研究者の採用を目指す
5. 女性研究者自身の健康管理を礎とした研究環境の改善
6. 女性研究者の「人的ネットワーク」構築により、共同研究を促進
7. 連携機関が女性研究者の「業績目標」を設定



## 1 意識改革と啓発

### ① シンポジウムやセミナー



渥美由喜氏による講演



パネルディスカッション



### ② 連携機関の責任者と女性研究者の交流会開催



a. 定例交流会 (5回開催)



b. スタート・ワーク・アゲイン・ミーティング



### ③ 現状分析と対応策検討

男女共同参画に関するアンケートを実施(715人より回答)

## 2 WLBの推進

### ① 支援事業の連携機関へ普及

➤ 静岡大学多目的保育施設「たけのこ」利用及び保育費用の助成(保育料の半額を補助、上限2万円)

➤ 学会参加時等保育支援制度(保育料の半額を補助、上限2万円)

➤ 研究支援員制度  
連携機関の女性研究者延べ11名に配置(H26.10.1現在)

➤ リプロダクティブヘルス休暇  
連携機関へ制度を紹介

➤ 「飛ぶ教室」開催  
連携機関のトップ層に本学の取組を紹介

➤ 機関横断的メンター制度

### ② 健康・介護問題の支援

➤ 「MANAGEMENT」(健康・介護)の実践支援



➤ 気軽な相談体制整備

## 3 研究能力の向上と裾野の拡大

### ① 研究能力向上

- 共同研究の支援  
静岡大学と連携機関との女性研究者による共同研究を支援  
上限200万円/件 **平成25年度2件、平成26年度5件を採択**
- 異分野研究者勉強会 共同研究ラブコールイベントを開催
- 研究倫理に関する研修 共同研究を始める際の留意点を学ぶ



共同研究ラブコールイベント  
(ポスター発表会、ロールモデルトークタイム)



研究倫理研修会

### ② 社会人と学生の交流(裾野拡大)

- 連携機関の女性研究者による ロールモデル紹介
- 連携機関の女性研究者と学生の交流会開催



連携機関の企業で活躍する女性研究者による講演



ロールモデル集を  
中高生に配布

## 4 女性研究者の登用

### ① 女性研究者の登用促進

- キャリア形成研修
- 管理職を「育てる」機会創出



女性研究者による  
キャリア形成研修会



## 5 推進手法と体制

### ① 連携機関間相互の交流と情報の共有・発信

- 連携機関の情報共有化(各機関の支援策等のDB化)
- 情報等の集約・発信
  - ア 「Dual Career」支援
  - イ ネットワーク(WEB)活用した広報
  - ウ 外部資金獲得情報
  - エ 相談体制の充実
  - オ Go Backサポート(復職支援)



### ② 「静岡県女性研究者ネットワーク」構築

静岡県経済産業部振興局研究調整課と連携

拠点型事業ホームページを  
開設し情報を発信